

留学生の指導教員・クラス担任各位

成績不振・留年している学生の在留期間更新申請に係る理由書作成のお願い

出入国在留管理局へ在留期間の更新を申請する上で、標準修了年限内に卒業・修了することができない学生については、指導教員からの理由書の提出が必要となります。つきましては、以下の書式をご参考の上、必要事項を含めて作成をお願いします。

なお、理由書は学生交流課で内容を確認させていただき、コピーを保管する必要がありますため、封筒などに入れず学生を通して学生交流課にご提出ください。

学群生の年間取得単位数が25単位以下の場合も、理由書の提出が必要となります。

参考書式・内容	
	年 月 日
東京出入国在留管理局長 殿	
タイトル (理由書 / 在留期間更新のお願い など)	
◆ 学生の 氏名・所属・専攻・年次・国籍 等	
◆ 在籍中の学習状況	
◆ 標準修了年限を越えて在籍が必要な理由	
◆ 現在から卒業・修了するまでのスケジュール 例)：平成〇年〇月 博士論文の最終執筆 ・ ・ 平成〇年〇月 修了 (予定)	
◆ 卒業・修了予定日	
指導教員	氏名 住所 電話 E-mail
	印

【重要】学群生の2回目留年の場合

近年、学部生の留年による在留期間更新については、出入国在留管理局の審査が非常に厳しくなっており、特に2回目の留年は不許可となる場合があります。やむを得ず、2回目の更新申請をする場合、特に詳細な理由書の提出が必要で、卒業(留年)が延びた経緯と現在の状況回復による卒業見込の可能性について、詳細に説明した本人及び指導教員の理由書、さらに卒業までの具体的な履修計画書を提出する必要があります。学生交流課及び担当エリア支援室との連携が必要となりますので、ご理解の上、作成をお願いいたします。